

# 兵庫県水産技術センターだより

## ヒョウモンダコに注意！（臨時情報）

平成30年4月11日発行

4月4日に、南あわじ市沼島沿岸の海面において、猛毒を持つヒョウモンダコが採捕されました（1個体）。また、平成29年10月28日と12月23日にも、明石市沿岸の海面で採捕されています。（各1個体）

ヒョウモンダコは唾液腺にフグ毒と同じテトロドトキシンを持ち、咬まれると死に至ることもあります。

もしヒョウモンダコを見つけても、絶対に触ったりしないで下さい。また、見つけた日時や場所などについて、下記まで情報提供をお願いします。



ヒョウモンダコ（H30.4.4採捕）

### ヒョウモンダコとは

・主に日本からオーストラリアにかけての暖かい海に分布、生息しており、日本では太平洋側では千葉県以南、日本海側では福井県以南で確認されています。

・大きさは10cm程度の小型のタコで、普段は薄茶色の地味な色をしていますが、刺激を受けると全身に青い斑紋（写真のとおり）が現れます。

・唾液腺にフグ毒と同じ猛毒のテトロドトキシンを持ち、咬まれると神経麻痺や呼吸困難を起こします。（海外では死亡事例あり）



ヒョウモンダコ（H29.10.28採捕）



ヒョウモンダコ（H29.12.23採捕）